

平成24年度第3回宇都宮市民大学運営協議会議事録

1. 件名 「平成24年度第3回宇都宮市民大学運営協議会」
2. 日時 平成24年12月4日（火） 午前10時～11時30分
3. 場所 中央生涯学習センター 201学習室
4. 出席者 委員 9名（別紙参照）
事務局 8名（生涯学習課）
大竹課長，山中課長補佐，川俣係長，相田総括主査，安納専任主査，
味野和主事，田邊主事，新井地域教育指導員
5. 内容 別添資料参照（会議資料）

○ 会長挨拶

- ・ 講座企画運営選考委員会に，生涯学習コーディネーターから18本の企画の応募があった。生涯学習コーディネーターの皆さんが宇都宮市民大学の企画運営に積極的に関わっていることを大変心強く感じている。
- ・ 宇都宮市民大学は平成5年に開講し，来年度20周年記念事業を行う予定である。この間，講座の内容については，大学連携による実施や，地域教育の推進といった様々な充実が図られてきた。
- ・ 学習成果を地域に還元していくことを目指していくことが，市民大学の意義という点では最も大きなテーマである。
- ・ 内閣で閣議決定された「高齢社会対策大綱」では，全員参加型社会の構築ということで高齢者雇用の推進や，勤労者の永続的な能力の発揮などがあげられている。市民大学に関わることでは，高齢者の社会参加，高齢者の学習機会の促進，多様な学習機会の提供などが謳われている。市民大学の理念と多くの共通点があることから，市民大学の役割意義がより高まると思っている。

○ 議題

（1）宇都宮市民大学運営協議会役員を選出について

委員互選により，副会長に岡田委員を選出した。

（2）平成24年度宇都宮市民大学後期講座実施状況について

影山委員 ⇒ 定員を超えた講座の抽選方法について教えてもらいたい。

（事務局）… パソコンの抽選用ソフトを利用し，抽選を実施している。

石野会長 ⇒ 後期専門講座のアンケート集計結果については，どのようになっているのか。

（事務局）… 後期講座の開催期間中であり，終了次第実施する。

（3）平成25年度宇都宮市民大学生涯学習コーディネーター企画講座の決定について

岡田委員 ⇒ 今回採用された9講座の中で，館外学習を実施する講座はどれか。

（事務局）… ふるさと地域学コースについては，「宇都宮市の地震災害の歴史と防災」と，「仏像から宇都宮の歴史・文化を探る」で，今を読み解く現代社会コ

ースでは、実施の予定はない。暮らしを彩る教養文化コースでは、「アートを楽しみ、アートでまちを生き活きと!」、「俳句入門講座」と、コミュニケーション学コースでは、「古里宇都宮の伝統文化探訪」の5講座で館外学習を予定している。

影山委員 ⇒ 審査項目「発展性」の採点は、どのような仕組みとなっているのか。
(事務局) … 発展性の点数は、基本点数(1~5点)を2倍として計算している。

石野会長 ⇒ 市民大学の企画としては、市民大学の理念に照らして相応しいものを選定することは勿論だが、受講者が参加意欲を持つようなものでなければならないことも重要な視点である。社会教育の色彩が強いものだと、あまり参加者が集まらない。一方、教養文化コースについては多くの参加者が集まるという実態がある。

今後このような状況についてどのように考えていくことになるのか。

竹澤委員 ⇒ 現在行っている講座で人気があるのは、「巡礼」や「運動器」などである。平成25年度の企画内容を見ると、体の健康について、もう少し詳しく学べるようなものや継続的に学べるものということを検討したほうがよい。

また、社会の状況から見て、ITのような分野についても開講できたらよいのではないか。今後の参考にしていただければ幸いである。

石野会長 ⇒ 現在、講座企画の分野は4コースだが、分野のあり方については、事務局として何か考えているか。

(事務局) … 講座の分野は、平成22年度に現在の形に見直しを行い、来年度で3年目を迎え、企画者である生涯学習コーディネーターにより浸透した状況である。

今年度、「宇都宮市地域教育推進計画」である「地域教育プラン」の見直しを実施していることから、これらと併せて、市民大学の分野についても、どのような分野が必要となり、どのような分野を重点的に実施する必要があるのか検討していく。

花積委員 ⇒ 今回初めて子育て関連の講座がなくなったが、市民大学の運営理念に「子育てや地域社会の育成」というのがあることを考えると、開催していくべきではないか。受講者を集めることが大変困難ではあるが、実際に講座を受講した方々の意見を聞くと、大変勉強になったと言っている。

幼児などの子育てをしている人に是非聞いてもらいたい内容のものを、次回からは入れてもらいたい。

平成25年度も大学連携があるので、その中で検討してもらいたい。

(事務局) … 今年度実施した子育て講座については、昨年度の生涯学習コーディネーターの方が企画した内容を基本に、大学連携講座として実施した経緯がある。

来年度の大学連携講座は、宇都宮大学と宇都宮短期大学であり、事務局企画としては1講座を実施していく予定である。

今回いただいた意見を参考に、この3講座の活用について、講座全体のバランスも考慮しながら検討していきたい。

花積委員 ⇒ 子育て講座については、参加しにくい理由の一つに、受講料の問題がある。

受講者が、子どもの体調などで急遽参加できなくなる状況があることから、参加した講座の回数分とする料金体系にすれば、もっと参加しやすい状況になるのではないか。子育て中の方には特別な料金体系で受講できるように検討してもらいたい。

(事務局) … 今年度、子育て講座については参加講座分だけの料金で実施した。受講者が参加しやすい環境を整えるよう検討していきたい。

花積委員 ⇒ 講座の企画については、選考委員会で通りやすいもの、人が集まりやすいものに偏ってしまう傾向にある。企画者である生涯学習コーディネーターはもっと勉強して企画提案をしていく必要があると考える。

一方、実際の講座運営の中で、参加者があまり少ないと、コーディネーターがやりがいを感じることができない状況もある。

影山委員 ⇒ 受講者として講座に参加した時に感じたのは、受講者の年齢層が大変高いということである。講座の意義として、社会のニーズに応じていくという視点は大切なことであると思う一方で、高齢者に生きがいを与えるような講座も大切であるということも感じた。今後もそのような内容のものを引き続き採用してもらいたい。

小針委員 ⇒ 講座に参加して教養と知識を身につけることは良いことであるが、受講者が講座を受けて、どのような課題認識を持ち、それを自分が生活する地域に照らし合わせて、どのように考え行動していくのか。

受講者が地域の課題に対して、学んだ知識や能力をどのように生かしていくのかということは、とても大切である。これらについて何か考えがあるか。

影山委員 ⇒ 今回は防災関連の講座が採用されたが、受講者が講座終了後に、学んだ知識や経験をどのように生かしていくのか、事務局の見通しを併せて教えてもらいたい。

(事務局) … 趣味教養の講座など「個人の要望」に対応するものと、「社会の要請」に対応するテーマについて、バランスを考慮することが必要であると考えている。ふるさと地域学コースの講座である「宇都宮市での地震災害の歴史と防災」については、災害ボランティアに繋げていく内容で、発展性があることから、選考において高い点数を得ている状況が見られる。

また、教養文化コースについては、「個人の要望」に対応するコースであり講座の企画はしやすいが、発展性に繋げるのは難しくなるのではないかと考えている。

受講者の変容については、講座を受講後の第一歩として、「仲間づくり」としての「学習グループ」を立ち上げてもらいたいと考えている。

次のステップとして、その学習グループが活動を重ね、社会貢献活動に積極的に参加するような団体になってほしいと考えている。

このような活動に繋げるためには、活動をサポートする仕組みも重要であるが、事務局としては、生涯学習コーディネーターや委員の皆様の御意見をいただきながら、企画内容に深みを持たせて活動へのきっかけづくりを進めていきたい。

石野会長 ⇒ 審査項目の「発展性」について、今の説明を聞いて、学んだことを地域で生かす、還元するということがよく分かった。企画者への説明の中で、より具体的に示すと分かりやすいと思う。

多くの意見をいただいたが、コーディネーター企画講座はこれらを踏まえて決定としたい。

(4) 宇都宮市民大学20周年記念事業について

石野会長 ⇒ 講師はピアニストということだが、講演会は演奏と講話の両方ということになるのか。

(事務局) … 講演が主で、その中で演奏もしていただく内容で考えている。

影山委員 ⇒ 私は講師の講演会に参加したことがあり、とても感動的な演奏であった。その時は、講演の中で演奏がある内容であった。

石野会長 ⇒ その他の御意見・御質問はありますか。

今回出た意見などを参考に、よりよいものになるよう、具体的な内容を事務局で検討していただきたい。

(5) その他

石野会長 ⇒ せっかくの機会なので、その他市民大学に関する御意見などがありましたら、発言をお願いします。

小針委員 ⇒ 最近街づくりや地域づくりということがよく言われているが、その中でも「日光学」や「城山学」といった、地域学というのが大切であると感じている。自分の関わりのある地元の歴史を知ることが、郷土愛につながるのではないかと思う。市民大学から発展して、宇都宮市内の各地域に直接関わる地域学のようなものができたらよいのではないか。

(事務局) … 地域教育プランの改定の中で、柱となる基本目標は、学びを通じた個人の自立を図る「人づくり」とともに、「絆づくり」と「地域づくり」である。これらの目標を達成する上で、地域コミュニティの再生は施策の核となる一つである。

そのような中、現在、連合自治会単位の地域を基本とした、「地域学講座」の実施に向けた検討をしており、今年度は市職員のワーキンググループを立ち上げて、具体化を図る検討をしている。まずは、雀宮地区で試行する予定である。

高橋委員 ⇒ 来年度の講座の中に事務局企画講座とあるが、具体的なことについて教えてもらいたい。

(事務局) … 現時点では内容は決まっていない。大学連携講座の内容や、本日決定された講座とのバランスなどを勘案して決めていきたい。